

身近な自然や生き物はどうなる？

気候変動の影響への「適応」とは？

気候変動の影響はすでに、私たちのくらしのさまざまなところに現れています。

その影響に対処するためには、温室効果ガスを削減する「緩和」だけでなく、
影響被害を回避・軽減する「適応」が重要です。

世界や北海道の気候に何が起きているのか、植物や動物にはどのような影響があるのか、
それぞれの分野の専門家のお話を通して知り、未来について考えてみませんか。

(要申込)
定員
100名
(無料)

2019年

11月5日(火) 13:30～16:15(予定)(開場13時)

旭川市国際会議場(大雪クリスタルホール内) 大会議室
(旭川市神楽3条7丁目1)

※ 本セミナーはペーパーレスで行います

講演1 「北海道の気候変化について」

上澤 大作 氏

(札幌管区气象台 気象防災部 地球環境・
海洋課 地球温暖化情報官)

講演2 「地球温暖化時代のカラマツ林業」

八坂 通泰 氏

(北海道立総合研究機構・林産試験場 場長)

講演3 「したたかに生きる動物たち

～飼育動物から見えてくる姿～

坂東 元 氏

(旭山動物園 園長)

＜会場アクセス＞



旭川駅南口から徒歩10分
または11番、12番のりばからバス乗車約3分
「大雪クリスタルホール前」下車すぐ
※ホール裏側に無料駐車場あり。
台数に限りがありますので予めご了承ください。

※参加ご希望の方は裏面の申し込み用紙をご利用下さい。

申込先/事務局 日本エヌ・ユー・エス株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア5階
TEL: 050-3644-6400 FAX: 03-5925-6745
E-Mail: adaptation-hokkaido@janus.co.jp (担当: 櫻木(サクラギ)、野田)

主催 環境省北海道地方環境事務所、北海道、
旭川市、公益財団法人北海道環境財団

講師プロフィール

上澤 大作 (うえさわ だいさく)



：札幌管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課 地球温暖化情報官

1999年(平成11年)4月気象庁に入庁、地球環境・海洋部、気象研究所、気象衛星センター等を経て現職。これまで、季節予報、黄砂監視、気象衛星ひまわりに関する業務等に従事。

八坂 通泰 (やさか みちやす)



：北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場長、博士(農学)

1962年広島県広島市生まれ。1991年道立林業試験場入庁、2018年より林産試験場長。専門は森林生態学で、カラマツ人工林やブナ天然林、木材生産や生物多様性・地球温暖化など、北海道の森林・林業を幅広く研究対象にしている。

坂東 元 (ばんどう げん)



：旭山動物園 園長、ボルネオ保全トラストジャパン理事

1986年旭川市旭山動物園に入園、2009年より園長。「こども牧場」など全ての施設デザインのほか、もぐもぐタイムなどの企画も行った。現在マレーシアでは野生生物レスキューセンターを建設中。著書は「動物と向きあって生きる」ほか。

■ プログラムとスケジュール

13:00	受付開始
13:30	開会 主催者挨拶
13:35	「気候変動の影響への適応について」／環境省北海道地方環境事務所
13:45	講演：「北海道の気候変化について」 上澤 大作 氏 (札幌管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課 地球温暖化情報官)
14:05	講演：「地球温暖化時代のカラマツ林業」 八坂 通泰 氏 (北海道総合研究機構・林産試験場 場長)
14:35	質疑応答
	(休憩)
14:50	講演：「したたかに生きる動物たち～飼育動物から見えてくる姿～」 坂東 元 氏 (旭川市旭山動物園 園長)
15:50	質疑応答
16:15	閉会

※当日メディアが取材に入る可能性があります。

※本セミナーはペーパーレスで行います。資料の配布はございません。

お申込み用紙

※切らずにそのままFAXしてください。(申込締切 2019年10月31日(木))

FAX: 03-5925-6745 メール: adaptation-hokkaido@janus.co.jp

※メールでの申し込みも可能です。メールの場合は、本文に直接以下の必要事項をご記入頂くか、QRコードからお申込み下さい。

氏名 (ふりがな)

職業

人数

TEL

FAX

E-mail

今後、環境省主催の説明会等の案内を希望しますか。

はい いいえ

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事のみ使用します。

